

# けんしゅうしましよ

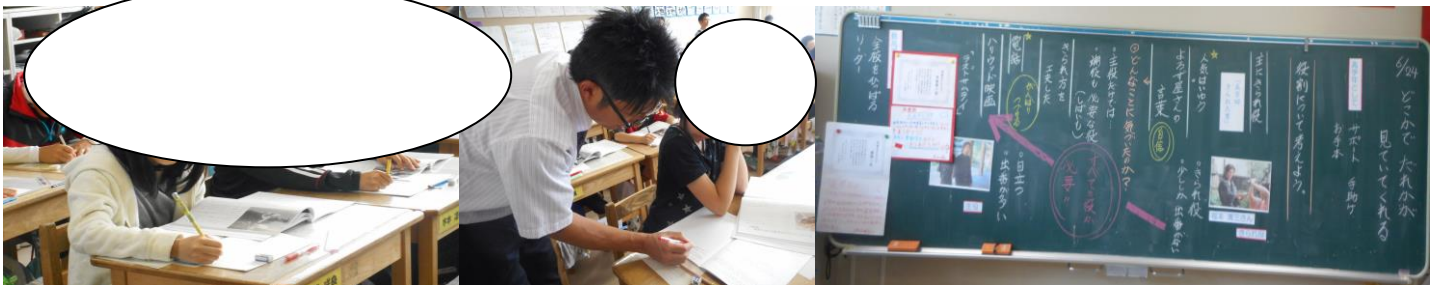
3号

H28. 7. 4  
文責 小林

道徳 主題名 目標に対して粘り強く  
中心内容項目 A 主として自分自身に関すること  
(希望と勇気・努力と強い意志)

資料名 (文溪堂)  
5の1 松本学級

6月24日(金)5校時, 5年1組において問題解決型の授業構成を意識した道徳の授業が行われました。



## 授業後の話し合いより

### ① 価値の捉え方について

色々な価値が見え隠れする1時間であった。どの役割も大切ということに結び付けたかったのに、勤労・勤勉に進みそうなところもあった。

### ② 発問について

指導案上にはのっていない子どもたちの思考を繋げるような補助発問や切り返しの発問が用意されていたのがよかった。

役割よりも努力にひっぱられていえるところがあった。

教師と子どもの発問が同じくらい。少し教師が話しすぎる傾向かも。

「さて」などの言葉を使うと、授業の流れが切れてしまう印象がある。発表でつなげたり、「なんで」「どうして」などの切り返して思考を繋げたりすることも大切なのでは。

### ③ 価値への意識づけについて

初めは6年生の役割の方が大切だといっていたが、最後には変容が見られてよかった。

価値への意識づけがあまかったのでは。資料の中の言葉ばかりが出ていて、自分の生活の中のことが出なかった。※価値への意識づけで大切なのは、比較と屁理屈

役割について話し合っているのが少なかった。教材の中で進んでいた。問題解決学習なので、意識づけをもう少し役割について考えさせられるとよかった。

### ④ 時間配分について

教材からでるまで時間がかかった。

中心発問までの発問を減らすことにより、後半での時間の確保ができるようになった。

### ⑤ その他

映像の工夫。興味を持って導入できた。

板書に書いた言葉に子どもたちの思考がひっぱられるので、注意が必要。

補助発問など、しっかり授業準備がされていたのが大変よくわかる授業だった。

子どもたち同士がお互いの良さを認め合う場面があり良かった。

## 外部講師による道徳研修会について

- ・木原先生より「問題解決的道徳の学習時間における発問構成の在り方」について講演いただき、研修を深める。
- ・柳沼先生より「特別な教科 道徳 における評価の在り方」について講演をいただき、研修を深める。